

ほすびたる

特集

介護小説「はじめの1歩〜介護の申請〜」



家トレ

Withコロナ時代の羅針盤

医療のことば辞典

四コマ漫画『たぬちゅ〜物語』

インフォメーション。



広報誌『ほすびたる』Vol.096 2021 A/W

発行／医療法人聖峰会 田主丸中央病院

〒839-1213 福岡県久留米市田主丸町益生田892
TEL: 0943-72-2460(代)



病院ホームページ
-TOP-



病院ホームページ
-診療案内スケジュール-





『私』・田主丸男（仮名）は55歳会社員。実家があるK市T町から車で1時間ほどのF市にマンションを購入して暮らしている。一人息子はこの春大学を卒業して関東への就職を機に家を出て、妻との2人暮らしが始まったばかり。実家では、昨年母に先立たれた父が一人、元気に農業を続けている。



～プロローグ～

それは、深夜の1本の着信から始まった。

最近ひどくなった近眼で、ぼやけた画面では誰からの電話なのか確認できないまま、隣で眠る妻を起こさぬように急いで通話ボタンに人差し指を滑らせる。

「もしもし…」

「田主さんの携帯で間違い無いでしょうか？」

若い女性の声がある。

「…はい、そうですが何か？」

「私、T中央病院・看護師の足立（仮名）と申します。お父さまがご自宅で倒れられて、今、救急車で当院に運ばれております」

心臓が大きく脈を打ち、寝ぼけていた頭に一気に血が巡るのを感じた。そっと寝床を離れてリビングへ移動した。看護師が続ける。状況についていくつか説明を受けたが、気が動転して頭に入ってこない。

「今から当院に来ていただくことはできますか？」

「あ…、はい。わかりました。すぐに向かいます。」

とりあえず、そう返事をして電話を切った。

ソファに座って状況を整理していると妻が起きてきた。「どうしたの？」

電話の様子が聞こえていたのか、不安そうに聞いてくる。

「悪い、起こしたな。親父が倒れて病院に運ばれた。今から行ってくる。」

「えっ！…悪いの？急いで行こう。」

妻がそばにいてくれるのは心強い。しかし就寝前に、明日は面倒だが重要な会議があると私にボヤいていたのを思い出す。

「いや、詳しい状態はわからないから、とりあえずオレ一人で行ってくる。状況がわかったら連絡するよ。」

「…わかった。落ち着いて安全運転でね。」

と言葉を交わした後、急いで身支度を整えて車に乗り込んだ。午前2時。

（明日の仕事のアポイントを変更してもらわないとな）（父は一人の生活で不自由があったのだろうか）

と、止めどない考えが頭をぐるぐると巡りながら、気づくと搬送先の病院に着いていた。

父が運ばれていて電話をもらったことを夜間窓口で伝えると、医師のところへ案内された。

「こんばんは。医師の馬場（仮名）です。驚かれたでしょう。」

と挨拶の後、医師は父の状況説明を続ける。父は就寝前に用を足した直後に体の異変に気づき、手にしていた携帯で119番をコールしたそうだ。検査の結果は脳出血。緊急手術が必要で、今、準備中とのことだった。一人、家族控え室で待機しながら手術の終わりを待つ。この瞬間、父のために何もしようがない自分の無力さを噛み締めながら、時計の針が進むのをただただ眺めていた。

気づくと、窓から見える空は赤く焼けていた午前5時。手術は無事終わり、父は一命を取り留めた。右半身に麻痺を残して。



予期せず、突然訪れた「介護」を知っていく『私』の物語。誰の身にも起きうる問題です。あなたは「介護」の世界に一步踏み出す準備はできていますか？

【監修】
田主丸中央病院 地域医療支援課
課長 木村 知子

～そして私は途方にくれる～

一旦、父のいない実家に帰ってシャワーと少しの仮眠をとったあと、病院に戻って10時。父の病室へ行くと、麻酔から醒めた父の姿があった。

「父さん！分かる？大丈夫ね？」と問いかけると、こちらに視線を向け、うなづきながら少し笑った。が、右の口角は下がったままだった。何にしても生きていてくれたことが嬉しくて、ただただうなづきながら父の腕を摩り続けていた。しばらくすると、担当医がベットサイドに来て、父と一緒に術後の説明を受けた。父は脳の中に出血が起こった結果、右手と右足、そして顔にも右半分に軽度の麻痺が残ってしまい、今後、リハビリによって改善する余地はあるが、以前のようになんでも自分でこなす『元的生活』には戻れないかもしれない、ということだった。


（『元的生活』には戻れない…）いつかは訪れると覚悟はしていたつもりだったのに、その準備は全くしていないことに気づく。（父の近くに世話をしてくれる人はいない。なら、同居か？しかし、共働きの家に来たところで日中誰もいないのは同じこと。そ

もそも、父が生まれ育ったこの地を離れたがらない…）説明を聞きながら、何をどうすればいいのか分からず、漠然とした不安を前に途方にくれていた私を尻目に、父は悟ったかのように、淡々と医師の話にうなづいていた。

～ソーシャルワーカー～

ひと通り説明を終えると、医師が「今後の生活に関しては、当院のソーシャルワーカーに相談してみませんか？」と切り出した。「…ソーシャル…ワーカー？」初めて聞く言葉だった。

介護memo
ソーシャルワーカー
 医療・介護に関する「生活相談員」。ほとんどが社会福祉士や精神保健福祉士といった国家資格を有しており、より専門性の高い提案や支援を行っている。各自治体に配置されているが、入院中から退院に向けての介入の為に病院の職員として所属することも多い。

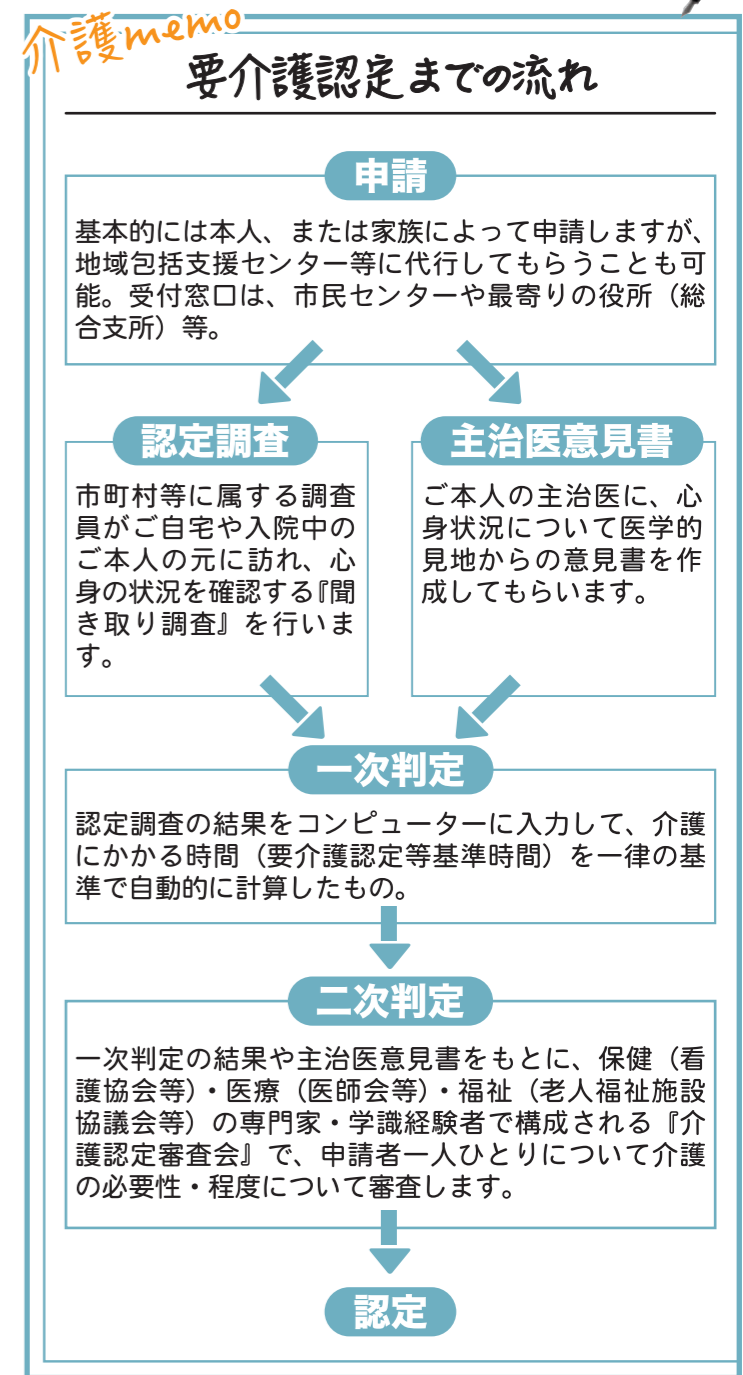


父の担当についてくれたソーシャルワーカーの椎田さん（仮名）は20代半ばくらいの快活な女性だ。何の予備知識もない私に『介護の必要な生活』についてたくさんの情報を与えてくれた。

～認定調査へ～

入院から4ヶ月。父自身が「妻との思い出がつまった家で暮らしたい」と強い想いを持ってリハビリに励んだおかげか、日常生活に必要な動作・機能が少しずつ戻ってきて退院への道すじが薄ら見えてきた頃、椎田さんは、父本人と私たち家族が退院後にどのような生活を送りたいのかを丁寧に聞いてくれて、その実現のために必要な制度を教えてくれた。「介護保険のサービスを受けるために、まずは要介護認定の申請をしましょう！」

椎田さんが申請のお手伝いをしてくれて程なく、市の調査員が入院中の父の病室に訪れ、心身の状況を聞き取る認定調査が行われた。手術直後には麻痺も強く、日常生活に戻れるのか心配したが、病院の懸命な治療と父が精力的にリハビリに励んだことで、調査員の質問になんとか答えられるまでに回復した父の姿に、私はそっと胸をなでおろした。



特集 介護小説「はじめの一步～介護の申請～」

～要支援2～

主治医の先生と、退院に向けた話を始めた頃に届いた要介護認定の結果、父の『要介護状態区分』は『要支援2』。日常生活はなんとか自分で行え、浴槽の掃除などで多少の支援があれば、自立した生活が行えそうな父の状態からすれば妥当な認定だった。『要介護状態区分』が確定したことで、これまで椎田さんと話してきた、「退院後にどのような生活を送りたいのか」という希望を実現するため、地域包括支援センターに相談に行き、介護支援専門員（ケアマネジャー）が、どういったサービスを組み合わせるのがいいのかを提案してくれた『ケアプラン』が完成した。

父の希望は「できるだけ自宅にいたい」。その希望を最大限叶えるため、週2回の訪問介護で生活の支援を受けることとなった。

～退院の日～

思えば、突然の深夜の電話から暗闇の中に放り出されたような日々だった。どちらに進んだらいいのか分からない漆黒の闇の中で、医師やソーシャルワーカー、ケアマネジャーの方が一筋の光を与えてくれた。これからの介護生活に不安がないわけではないが、ルームミラーに映る、嬉しそうに見慣れた町の風景を眺める父の横顔を見ると、「これからの生活もきっと大丈夫」と強く思えた。

介護memo

要介護認定 | 日常生活での介護（介助）の必要度合いを客観的に数値化したもの。チェック項目は **身体機能、生活機能、認知機能、精神・行動障害、社会生活への適応** の5項目。

	状態の具体例	
要支援1	食事、排せつ、入浴等は自分で出来るが、掃除は1人で出来ない	要支援状態：基本的には1人で生活可能だが、部分的な介護を必要とする状態 → 介護予防サービス
要支援2	食事、排せつ等は自分で出来るが、入浴時に背中を洗えない	
要介護1	排せつ時の着衣上げ下ろしや入浴、着替え等に介助が必要	要介護状態：運動機能だけでなく思考力や理解力が低下し、基本動作を自分で行うことができず、支援や介護を要する状態 → 介護サービス
要介護2	見守れば着替えられるが、排せつ等の一部もしくは全て介助が必要	
要介護3	排せつ、入浴、着替え全て介助が必要で、認知症対応も必要	
要介護4	排せつ等は全介助で、認知症による暴力、徘徊等への対応が必要	
要介護5	寝たきりで食事、オムツ交換等は全介助、会話の理解困難	

この物語はフィクションですが、このような話は実際によく起きている現実です。介護の準備、できてますか？



Withコロナ時代の 羅針盤

With COVID-19

人類にとって未知の病だった『新型コロナウイルス』。研究によってその全容が少しずつ見え始めてはいますが、この道のりがどこまで続くのかは誰にも分かりません。中長期的に付き合っていかなければならない『新型コロナウイルス』に対して分かってきた情報をいま一度お伝えするこの企画が、皆さまにとっての道標となりますように…。

基本こそが羅針盤

主な変異株		
呼称	最初に確認された日	最初に確認された国
α アルファ株	2020年9月	英国
β ベータ株	2020年5月	南アフリカ
γ ガンマ株	2020年11月	ブラジル
δ デルタ株	2020年10月	インド
\omicron オミクロン株	2021年11月	南アフリカ

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)が世界に蔓延して2年が経ちました。WHOが発表した2021年12月現在のデータによると、この2年で世界では2億6千万の人が感染し、520万を超える方が死亡しました。国内でもこの2年の間に第1~5波を経験し、約172万人が感染し、1.8万人が死亡したと報告されています。

一方で、我々人類も新型コロナウイルスに対抗すべく、世界規模でワクチン接種が始まりました。国内ではワクチン接種について紆余曲折あったものの、12月現在、2回接種者は人口の78%に達し、これは世界でもトップクラスの水準となりました。

ワクチンの接種率の向上をはじめ、様々な感染対策を講じた結果が功を奏したかどうかは分かりませんが、2021年

7-8月以降、国内での新規感染者数は急速に低下し、ここ最近では沈静化に向かってきていることは皆さんも肌で感じていたのではないのでしょうか。Withコロナ時代と覚悟を決めていた筆者も、もしかしたら新型コロナウイルスからの脱却ができるのではないかと期待をしていた次第です。

ところが最近、新たな変異株が出現し、この変異株ウイルスが新たに世界を覆うのではないかと噂されています。オミクロン株です。オミクロン株は2021年11月に南アフリカのポツワナで初検出され、12月現在すでに世界77か国へ拡散していると報告されています。このオミクロン株については、いまだその特性は不明な部分が多く、今世界の主流となっているデルタ株よりも感染力は高いと言

われたり、一方で重症化リスクは低く死亡率も低いのではないかとされたりしていますが、実際のところ未だ不明なところが多い状況です。

こういったオミクロン株の出現を受けて、国内でも3回目のワクチンを接種する動きが加速してきました。直近の様々な論文でもワクチン接種後その抗体価は時間と共に低下してくるものの、3回目のワクチンによってブースター効果が生まれ、オミクロン株にも有効だという報告も出てきました。もしかしたら、今後、また新たな変異株が出現する

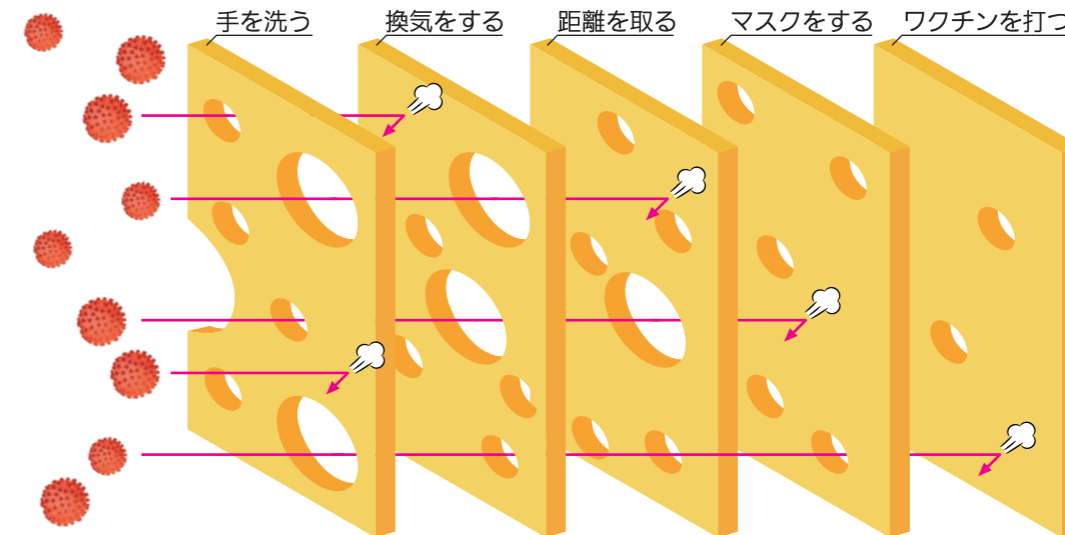
度にワクチンが必要だという議論が起こるかもしれません。ただウイルスは常に変異を繰り返すのが当たり前です。したがって今後は、私たちは新たな変異株が出現する度に一喜一憂しているとキリがないのです。結局のところ、1つの変異株が終息したところでまた新たな変異株が出現する、つまりこれから先も「withコロナ時代」ということには変わらないのです。

では、これから進むであろう「withコロナ時代」においてどう対応していった

ら良いでしょうか？例えこの先、いくら変異株が出現したとしても、私たちがやるべきことは変わりません。どんな変異株だとしても相手がコロナウイルスである以上、「手洗い」「うがい」「換気」「距離を取る」「マスクをする」という対策は同じです。

これら基本的な感染対策こそが、「withコロナ時代」を生き抜く羅針盤であり、基盤となると言ってもいいでしょう。

スイスチーズモデルで考える 新型コロナウイルス予防策



スイスチーズモデルで考える新型コロナウイルス予防策 (林淑朗医師、原案 James T.Reason 氏)

分かりにくい、
誤解しやすい
医療用語を
簡潔に解説！

医療の ことば 辞典

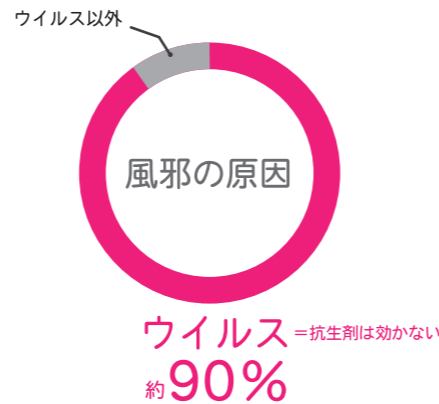
その十七 「風邪」 【かぜ】

当たり前に使われている風邪ですが、実は病名ではないことをご存知でしょうか。

風邪とは、上気道(鼻腔から咽頭、喉頭までの気道)や鼻粘膜に起こる急性の炎症によって引き起こされる、咳、発熱、頭痛などの『症状の総称(症候群)』です。それでは、風邪について、よく誤解される2点を更に見ていきましょう。

誤解① 風邪＝抗生剤を飲む

風邪の約90%がウイルス感染によるものです。そして、残りの約10%は細菌などウイルス以外による感染です。ここでのポイントは、ウイルスには抗生剤が効かないということです。つまり、風邪は抗生剤が不要な場合の方が多いのです。



誤解② 風邪薬はウイルスをやっつける

実は、風邪薬はウイルスをやっつけるものではありません。熱やせき、喉の痛みや鼻水などの症状を和らげてくれるものです。つまり、風邪薬とは、ウイルス自体をやっつけるものではなく、症状を和らげるお薬なのです。

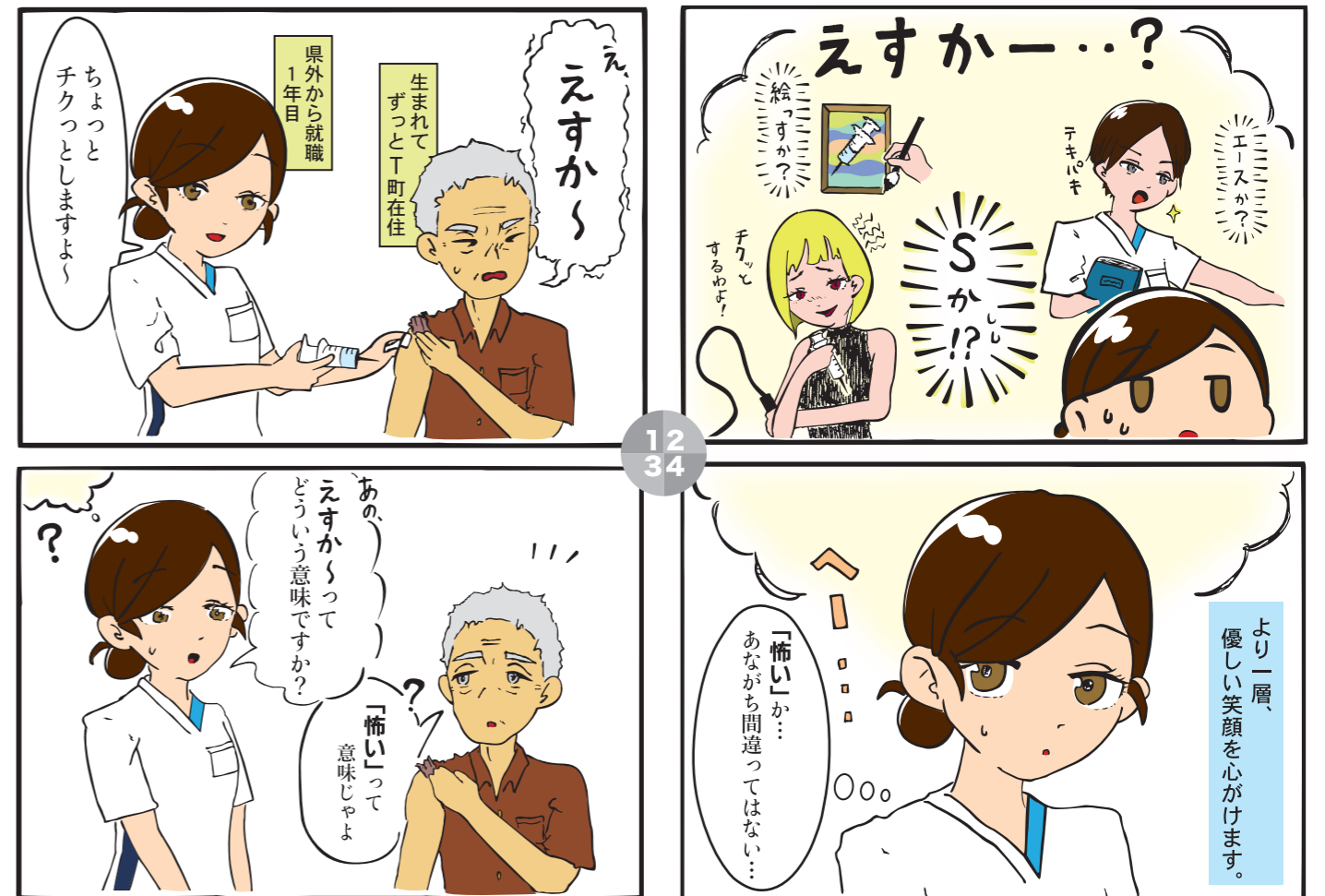
監修：田主丸中央病院 診療部長・外科部長 野田 祐司

たぬちゅ〜物語

ここは、自然豊かなK市T町。町の人から、親しみを持って「たぬちゅ〜」と呼ばれる病院があった…。

この物語はフィクションです。実在の人物や団体等とは関係ありません。

Vol.04 えすか〜



画：田主丸中央病院 医事課 水津 百合乃

インフォメーション。

新しい常勤医師のご紹介



呼吸器内科
まつなが かずこ
松永 和子

【経歴】
久留米大学 卒業
久留米大学病院 第一内科 入局
二瀬病院
標津病院

聖マリア病院
大牟田病院
福岡山王病院
当院勤務

【趣味】編み物 ひと言：「宜しくお願い致します」

電子マネー決済の利用が可能に！

これまで当院での会計時に使用できていたクレジットカードに加え、電子マネーでの決済も可能となりました。お会計の際にご利用ください。



主な使用可能カード



※当院でのチャージはできません。残高不足にお気をつけください。

田主丸中央病院公式LINE開設

田主丸中央病院の公式LINEを開設いたしました！休診のお知らせなど、最新の情報を配信予定です。

QRコードを読み取って、LINEで友達“追加”ボタンを押して、最新情報をGETしてください。



『新型コロナ抗体検査』が受けられます

新型コロナワクチン接種した後、その効果がどれだけ持続しているのか気になる方を対象に『新型コロナウイルス抗体検査』を受けられます。(※自費検査)



検査費：5,500円 (税込)

検査の予約・受付は
地域保健センター
(0943-72-2727)で
承ります。
※検査は採血で行います

皆さまの不安を解消する『PFM (入退院支援) センター』開設

入院から退院後までの、患者さまやご家族の不安を少しでも軽くすることを目的に、『PFM(入退院支援)センター』を開設しました。

医療・介護に関することなら何でも無料で相談できる『総合相談室』には、社会福祉士・保健師・看護師が常駐しております。本人またはご家族の医療や介護のことでの相談がございましたらお気軽にお声かけください。すみやかに対応させていただきます。



連携登録医療機関

田主丸中央病院は、地域医療支援病院として
地域の医療機関と連携し、皆さまの健康を守ります

田主丸町

いけどう循環器内科医院
緒方クリニック
熊谷医院
くまがえクリニック
高岡整形外科医院
竹下胃腸科内科医院
田中克己皮膚科クリニック
中野内科医院
原田小児科内科医院
日野医院
深川レディスクリニック
宮崎整形外科
やのクリニック
ゆうかり医療療育センター
吉村病院
岩佐歯科医院
うすき歯科医院
うめはら歯科医院
大楠歯科医院
古賀歯科医院
竹上歯科医院
たろう歯科クリニック
よこみぞ歯科

吉井町

井上眼科医院
いのうえ耳鼻咽喉科クリニック
うきは眼科
うすい内科・循環器科
柏木耳鼻咽喉科医院
菊池医院
久保山整形外科リウマチクリニック
境泌尿器科皮膚科医院
坂本内科医院
しのざき整形外科クリニック
小児科豊田医院
筑後吉井こころホスピタル
鳥越胃腸科外科医院
西見医院
原鶴温泉病院
平井内科医院
平田外科診療所
矢野医院
山崎医院
古賀歯科医院
五反田歯科医院
佐藤歯科医院
たけうち歯科医院
田村歯科クリニック

とりごえ歯科医院
廣田歯科医院
ふかまち歯科クリニック
わかみやデンタルクリニック

浮羽町

上田内科胃腸科医院
浮羽クリニック
行徳皮膚科クリニック
古賀内科小児科医院
田中医院
筑後川温泉病院
安元医院
安元整形外科
うきは歯科クリニック
古賀歯科医院
すぎょう歯科
三浦歯科医院

その他の地域

<久留米地域>
青木内科・消化器クリニック
あさひクリニック
井星医院
岡田脳神経外科医院
香月内科ハートクリニック
陶山クリニック

ぜんどうじ整形外科
田中まさはるクリニック
なご整形外科
平塚医院
みのうクリニック
やの医院

<杷木・朝倉地域>
朝倉市立朝倉診療所
久保山脳神経外科医院
くまもと内科医院
古賀循環器内科クリニック
古賀内科・呼吸器内科クリニック
重松医院
田辺医院
手島眼科医院
ながた内科・循環器クリニック
森山内科
安岡医院
山鹿医院
和田外科医院

<その他地域>
いとう内科クリニック(筑紫野市)
上野眼科医院(日田市)
耳納高原病院(八女市)

※各五十音順
令和4年1月1日現在